

「生きづらさを抱えている人たちと地域の橋渡し」 ～ちがいを活かした連携によるサポート体制づくり～

○エントリー団体

明治安田生命保険相互会社岩手南支社北上営業所

○コラボメンバー(役割分担)

労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団

北上笑いのたね事業所

：居場所づくり・つながる場づくり



○事業への思い・解決したい課題

北上笑いのたね事業所は、「様々な生きづらさを抱えている人たちと地域をゆるく繋ぎ地域に新しい価値観を生み出すこと」を目的に活動をしています。

一方で、実際に生きづらさを抱えている本人や家族に十分に情報が届いていない現状もあります。この取り組みでは、異なるアウトリーチ先をもつ2者の協働により、より多くの生きづらさを抱えている人たちが、地域とつながるための仕組みづくりを推進することを目的としています。

○コラボの経緯

きっかけは「同級生のお母さん」でした。明治安田のスタッフの友達のお母さんが北上笑いのたね事業所の後藤さんというつながりから、お互いの勤務する事業所が近くにあったこともあり交流が始まりました。北上笑いのたね事業所の“目標”や、明治安田の「地元の元気プロジェクト」についてお互いに話をする中で、自然と「力を合わせてコラボしたら、もっと効果的なことできそうじゃない？」と盛り上がり、協働がスタートしました。

○具体的な取り組み内容

現在は、北上笑いのたね事業所の周知活動と事業での人的なサポートを明治安田で行っています。

例えば日常の業務の中で、毎日毎日いろいろなお宅にご訪問します。中にはわが子のひきこもりや不登校に悩む親御さんもいましたが、“フラタネスクエア”事業を知らなかったケースなどがあります。そのようなタイミングで、「こんな事業がありますよ、こんな場所がありますよ」と周知しています。

また、人員が必要な「わたねフェス」の運営においても、明治安田がお手伝いをするとともに、取り組みについての周知をする機会にもなりました。

○コラボの効果

北上笑いのたね事業所、明治安田ともに、「こんな取り組みをしてるんですね！」と知ってもらえる機会が増加しました。せっかく思いがあり、狙いがあり、良い取り組みをしても、知ってもらえる機会がないほど勿体無いことはないと考えます。

協働により、お互いの取り組みを知ってもらう機会が相互にできたことが大きい効果でした。

○今後の展開

今後の展開として、協働の「税金に関するセミナー」を検討しています。北上笑いのたね事業所として、みんなが知りたがっている“税金”についてのセミナーなどで教育機会を提供したいがノウハウがない。なかなか学ぶ機会がない金融知識について、教育の機会損失は計り知れません。明治安田としてはせっかく金融知識を持っていてもセミナー開催のための場がなかったり、集客に時間を割くのには一定の労力を要する。互いの持つ狙いや利害がここでも一致し、協力して地域のため、まちのために取り組み続けていければと考えています。